

弁護士 職務記述書(ジョブディスクリプション)サンプル	
職種	弁護士
所属	〇〇法律事務所
職務等級	一般
上司	所長
部下	3人
職務目的	<p>弁護士法に定められている弁護士の使命を全うする。</p> <p>弁護士法第一条(弁護士の使命)「弁護士は、基本的人権を擁護し、社会正義を実現することを使命とする。弁護士は、前項の使命に基き、誠実にその職務を行い、社会秩序の維持及び法律制度の改善に努力しなければならない。」</p> <p>法律問題や紛争において企業、個人、政府機関を代表します。弁護士の主な任務は、クライアントの権利を保護しながら法律を守ります。証拠や情報を助言、調査、収集し、契約、離婚、不動産取引などの法的文書を起草し、法廷で弁護または起訴します。</p>
職務責任	<p>法的問題に向き合うだけでなく、法的解決の先を考えてクライアントを支える。</p> <p>企業活動に伴う法務経験を活かして的確な判断のもと、クライアントの立場に立って法律問題の解決に全力を尽くす。</p>
職務内容	<p>【民事事件】 法律相談、和解・示談交渉、訴訟や行政庁への不服申立等の法律事務</p> <p>【刑事事件】 弁護人として被疑者や被告人の弁護活動</p> <p>法律の知識や経験を生かし、あらゆる事件や紛争についての予防方法や対処方法、解決方法をアドバイスします。</p> <p>法律相談、書面作成、裁判の代理人、クライアントの弁護人としての職務をスムーズに行うために必要な業務。</p>
職務範囲	<p>弁護士活動において、職務内容をスムーズに遂行するために必要な業務。企業・顧客・顧問含む外部企業との連携。社内他部署との連携。</p> <p>弁護士の独占的業務領域に加え、ビジネスパートナーとして期待されるクライアントの経営管理に關する業務。</p>
職務経験	<p>弁護士または同様の役割としての3年以上の経験(民事や法務問わず)。</p> <p>弁護士事務所経験2年以上。</p>
スキル	基礎的法的思考能力、調査能力、証拠収集能力、コミュニケーション能力
知識	倒産法、租税法、経済法、知的財産法、労働法、環境法、国際関係法(私法・公法)
必須資格	司法試験合格者、司法試験成績が良好であること(299番以内の方)
優遇資格	米国弁護士資格
人物特性	<p>素直なお人柄で、吸収意欲が高い方</p> <p>物事を深く追求することができ、文献・判例や証拠に基づいた考えができる方</p>
会社概要	(仮)弁護士は、社会で生活するみなさんの「事件」や「紛争」について、法律の専門家として適切な予防方法や対処方法、解決策をアドバイスする「社会生活上の医師」である。(日本弁護士連合会HPより)私たちは、その役割を果たすことで日本社会全体に貢献します。
雇用形態	正社員
勤務地	東京本社 〒000-0000 東京都〇〇区〇〇 0-0-00 〇〇ビル10F
勤務時間	完全土日祝休み。標準労働時間1日8時間。 フレックスタイム制(コアタイム11:00~15:00)
待遇・福利厚生	雇用保険、労災保険、厚生年金、健康保険、交通費支給あり、各種社会保険完備、交通費あり(月2万円まで)、社内研修制度あり、育児休暇後の時短勤務あり、フリードリンク、社内100円ショップ、ミニフレックス制度あり